

個人山行報告 「日光・戦場ヶ原散策」

- ◆ 日程 平成 23 年 9 月 11 日 (日)
- ◆ メンバー 酒巻悦子 酒巻加津雄
- ◆ 行程 前日に清滝で旅館泊→いろは坂→竜頭の滝駐車場 P



冷えちゃって急きょ着替え&長袖 (すぐ暖まったけどね)

P 発 9:45 → 9:55 車道 → しゃくなげ橋(分岐) → 戦場ヶ原



バック男体山。なかなかピークが見えず

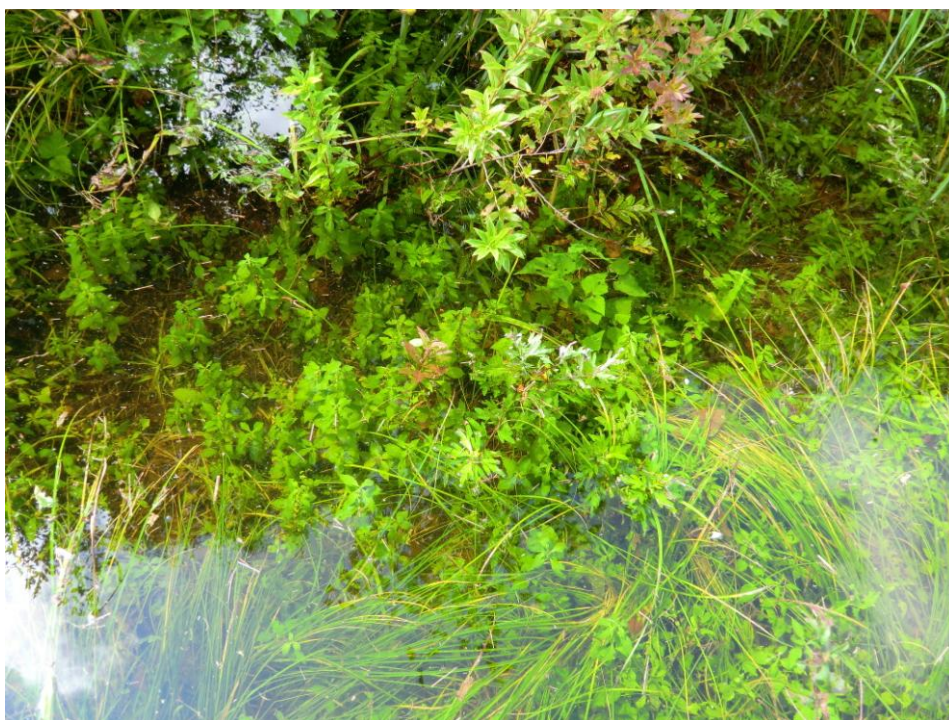


こういうだっ広い所って少しなのね、ちょっと残念

→ 11:25 泉門池分岐 → 小田代ガ原 → 11:55 小田代ガ原展望台（小田代湖）

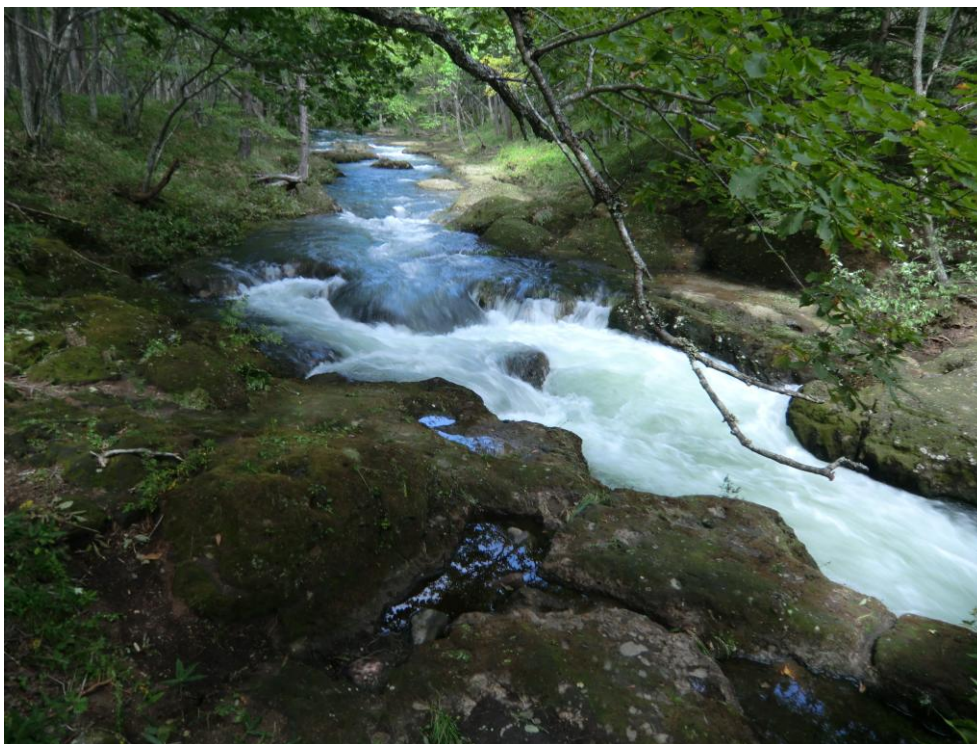


4年振りの出現だという「幻の小田代湖」。興奮して喜ぶ夫



水中に沈んだ草花たち。絵本の世界みたい

12:05 → 12:15 戦場ヶ原展望台(軽食)12:25 → しゃくなげ橋(分岐)
→ 12:55 竜頭の滝 P



竜頭の滝上部。水量があって水音が響いてた



ついでに華厳の滝も覗きに行きました。水量多いのかな？いまいちわからん。

◆ 感想

まだ紅葉が始まらぬ谷間の季節でしたが、日曜なのでやはりそこそこ人が来てましたね。尾瀬ヶ原のような草っ原の中を歩くイメージをしていたので、期待はずれでした。スケールもね。木道を歩いてるのに、周りも乾燥してるというのも残念で。

幻の小田代湖はエコバス利用で歩かずに来られる事もあってか人が多く、写真を撮る狙って来ているカメラマンも多く見かけました。

散策より実は面白かったのが、前夜泊した清滝の町がむかし足尾銅山から銅を運び精製・加工していた(現)古河電工が開いた企業城下町だったという話を、旅館で聞いたことでした。町を歩いて抱いた謎が解けてスッキリ。狭い地域にでっかい工場、立派な排水設備、実験施設、5階建ての住宅、果ては古河電工が掘って日光市に貸しているという温泉までありました。発電所も自前だそうです。人に歴史ありって言うけど、土地にも歴史ありだね。

次回はぜひ、観光地になっているという足尾銅山を訪れてみたいと思いました。